

市町村名	大宜味村						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	塩屋湾周辺利活用推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	企画観光課		事業実施(予定)年度	令和4年度～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	
事業内容	Ⅲ-1-(1)						
事業内容	本村の観光産業の振興を図り、かつ定住促進を進めるため、沖縄八景として指定されている塩屋湾の持続的な利活用に向けた調査及び計画策定を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和8年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,425	0	40,420	0	
		(b)予算現額	9,605	0	40,420	0	
		(c)増減額(b-a)	▲820	0	0	0	
		(d)繰越額	0	9,503	0	40,420	
		A.計(b+d)	9,605	9,503	40,420	40,420	
	B.執行済額		102	9,405	0	40,018	
	うち交付金充当額		81	7,524	0	32,014	
	次年度繰越額		9,503	0	40,420	0	
	執行率(%) (B/A)		1.1%	99.0%	0.0%	99.0%	
予算の状況の説明		本事業における検討委員会の意見に基づき、周辺環境の通年比較のために再検討が必要となった現地調査に係る調査及び実施のために、4か月の不測の日数を要したことから、年度内の完了が困難となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	塩屋湾水環境再生調査完了	目標	(・前提条件の整理) (・エリアゾーニング) (・ロードマップの作成)	(調査実施)			
		実績	・前提条件の整理 ・エリアゾーニング ・ロードマップの作	調査完了			
		目標					
		実績					
達成状況説明	令和4年度に前提条件の整理、エリアゾーニング、ロードマップの作成を完了し、令和5年度に塩屋湾水環境再生調査を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(令和8年度)
	塩屋湾水環境再生調査完了	目標	() (策定)	(調査実施)	()		満足度80%
		実績		策定	調査完了		
		目標	() ()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	繰越となったが、塩屋湾の水環境調査を令和5年度内に完了することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	水環境調査の結果、持続的利活用においては環境改善の対策をとる必要がある。	水環境の対策を行うことで、水産業の復活を行うことができ、ひいては観光産業とのマッチングにより更なる村振興の一助となる。
今後の取り組み方針		
令和6年度以降も持続的利活用実現のため、セット事業として水質環境改善の取組を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>40,018</td><td>40,018</td><td>32,014</td><td>8,004</td><td>0</td></tr></table> 大宜味村 40,018千円 委託費 40,018千円 株式会社 水圏科学コンサルタント 40,018千円 〔 水環境改善事業業務委託 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	40,018	40,018	32,014	8,004	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
40,018	40,018	32,014	8,004	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は402千円であり、適正な規模であったと考えている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業実施に必要不可欠なものであり、計画・支出等に関する書類により確認・適正である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	大宜味村						
令和５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	大宜味村観光地安全対策整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
担当部署名	企画観光課		事業実施 （予定）年度	令和５年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	世界から選ばれる持続可能な観光地の 形成と沖縄観光の変革	
事業内容	大宜味村内の観光拠点を整備し、観光周遊ルートを形成することにより、観光客の受入体制を強化するとともに、災害時、安心安全に避難できるよう観光地整備を行い観光地形成に取り組む						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	R7年度	R8年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	10,392	0	0	0	
		(b)予算現額	11,910	0	0	0	
		(c)増減額（b-a）	1,518	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	11,754	0		
		A. 計（b+d）	11,910	11,754	0	0	0
	B. 執行済額		60	0	0	0	
	うち交付金充当額		48	0	0	0	
	次年度繰越額		11,754		0		
	執行率（％）（B/A）		0.5%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		本事業における安全対策協議会の意見により、安全対策施設（スピーカー）設置箇所等を見直しする必要が生じ、地質調査を追加で行うこととなり、不測の日数を要したため委託費及び工事費にかかる1,754千円を令和6年度に繰越した。また、繰越後においては、用地交渉等に時間を要し測量調査及び設備工事については、発注を中止することとなった。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	活動目標（指標）		達成状況				
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	安全対策設備工事	目 標	（ 整備完了 ）				
		実 績	未実施				
		目 標	（ ）				
		実 績					
		目 標	（ ）				
		実 績					
達成状況説明	安全対策協議会については、目標どおり3回開催したが、検討していた村有地のみでの設置が困難であったため、一部私有地へ設置する必要が生じたが、購入を予定している私有地について、用地交渉が難航し測量調査及び設備工事の実施に至っていない。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	成果目標（指標）		基準値 （ 年度 ）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 （ 年度 ）
	雨天の増水に伴う消防の出動件数 0件	目 標	（ ）	（ 0件 ）			（ ）
		実 績		未実施			
	雨天の増水に伴う死亡・事故件数 0件	目 標	（ ）	（ 0件 ）			（ ）
		実 績		未実施			
	進捗状況説明	・設置個所の決定後に地質調査の必要性が生じたため、繰越を行っていたが、用地交渉が難航し、測量調査及び設備工事が実施できていないため、成果目標の実績がでていない。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（安全対策施設整備） 当初は村有地での整備を検討していたが、村有地のみでの実施が困難となったため、地質調査及び用地購入が必要となったが、用地交渉も難航しているため、事業実施が困難となった。	（安全対策施設整備） ・用地交渉の早期完了 ・突発的な変更に対応できるよう、事業実施を複数年に分けるなど改善に努める。
今後の取り組み方針		
・用地交渉を進めながら、事業年度も複数年に分け基本計画、実施設計、工事と3年に分けて実施していく。 ・観光協会と連携し、ホームページでの事前周知や駐車場入場時のレクチャーに取り組むとともに、国頭地区行政事務組合（消防本部）と連携し避難ルートの確認等に取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>60</td><td>60</td><td>48</td><td>12</td><td>0</td></tr> </table> 大宜味村 60千円 → 報償 60千円 → 安全対策協議会 60千円 〔 安全対策協議会委員報償費 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	60	60	48	12	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
60	60	48	12	0										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委員の選定に当たっては、関係機関や専門性を考慮して選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は適正であったと考えるが、用地交渉が難航し、委託及び工事が発注できなかったため、11,754千円の不用額が生じた。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から支出しており、適正なものと考えている。											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												